

校内研修計画

山梨市立牧丘第二小学校

1 学校課題

本校は山梨市牧丘町の北西部にあり、巨峰作りを中心とした農村地帯に位置している。児童数は32名、全学年単級の小規模校である。恵まれた自然の中で伸び伸びと育ち、明るく素直な子どもたちである。学習態度もまじめで、与えられた課題に真剣に取り組んでいる。しかし、多人数の前や改まった場で話すことへの抵抗感から、主体的に表現したり、聞き手を意識した発表を心がけたりすることに苦手意識を持っている児童が見られる。また、固定的な集団の中で、一部の児童の考えに引きずられがちで、創意工夫して問題解決しようとする気持ちが希薄と感ぜられることもある。だれもが主体的に自分の考えを表現し、子ども同士で学び合うことができる授業を創造していくことが必要である。

2 研究主題 「自ら学び 高め合う子どもの育成」

～ 自分の考えをわかりやすく伝えようとする子どもを目指して～

3 主題設定の理由

本校では「ふるさと牧丘を愛し、やさしく、かしこく、たくましく生きる子どもの育成」という教育目標のもと、「よく考えて、進んで学ぶ子ども」が掲げられている。学校経営の努力点の中には、「生きる力をはぐくむ教育活動の充実に努める」という項目があり、学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育み、教育活動全体を通じて行っていくとある。自分の考えを自分の言葉で話し合い、伝え合い、自分の考えを深め、「分かった」「できた」「一緒に学んで良かった」と思う授業を積み重ねていくことにより、目標が達成できると考える。

国語科で培ってきた、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の力を基盤に他教科において、さら育成していく必要がある。

平成22年度より、「自ら学び 高め合う児童の育成」を研究主題に、研究を行ってきた。

研究主題に掲げた「自ら学び、高め合う」児童の姿として、

・新しい問題に出会った時、疑問や驚き等を持ち、それを課題としてとらえながら、課題解決のために意欲的に取り組む姿

・友達に対して分かりやすく自分の考えを伝える姿

・友達との関わりの中で互いの考えを伝え合い、友達のよさに気付いたり、多様な見方・考え方に触れることで、自分の考えや技能をさらに広げたり、深めたりする姿

・自分なりの学習方法を身につけ、日常的に問題意識を持ち、生活の場面の中で学んだことを進んで活用する姿

ととらえ、取り組んできた。

これらの姿を目指すために、言語に関する能力の充実・向上が不可欠となり、3年をかけ「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の三領域の研究を行った。

その結果、「話すこと・聞くこと」では、話し合いや発表の場面において自分の考えをわかりやすく説明したり、伝えたりすることができるようになるとともに、話し手の意図を考えながら聞き取れるようになった。また、「読むこと」では、文の内容を読み取り自分たちで工夫しながら音読発表会で表現することができた。「書くこと」では、構成メモなどのワークシートをもとに、自分たちの考えを論理的にまとめることができるようになった。

その力を他教科においても広げ、自分の考えを根拠をもとに論理的にわかりやすく伝えたり、相手の考えを聞いたりする力をつけていきたい。

本校の子どもたちは、明るく素直で、様々な取り組みに対して積極的に頑張ろうとする姿が日々見られる。学習においても学習規律がしっかりと身につけており、授業に対する意欲も高い。

しかし、多人数の前や改まった場面で話すことへの抵抗感や、意見や考えを求められても答えられなかったり、黙ったりしてしまう児童が多い。先生や友達から言われたことに疑問を抱くことなくすべて聞き入れ深く考えずに行動してしまう傾向がある。また、友達の意見や考えに対して批評したり批判したりすることは少ない。

さらに、「考えたことを自分の言葉で表現する力」や「文章以外の多様な図や表などを読み取る力」などがまだ不十分である。

以上のことから、今年度は、「自分の考えをわかりやすく相手に伝える」ことに視点をあてて取り組む。人に言われたこと、与えられたことだけを行うのではなく、主体的に疑問を抱き考え、主体的に取捨選択し、主体的に考えたことを表現し伝え合うことで、互いがよりいっそう高め合えるような児童の育成を目指し、本主題を設定した。

4 研究の具体的内容与方法

(1) 研究の内容

- ・「自分の考えをわかりやすく相手に伝える」ことの理論研究
- ・授業研究・授業実践
- ・言語活動の充実を図る言語環境づくり

(2) 研究の具体的方法

- ・全体研究会の他に部会研究会を設け、討議や企画を行い、研究を推進していく。
- ・授業研究や授業公開の機会を設け情報交換をして研究を深める。
- ・3・5・6年学力テストの分析・実態調査

年間校内研修計画

研究主任 阿部 伸之介

研究テーマ	研究内容	担当	学年	時期	TC
自ら学び 自分の考えをわかりやすく伝えるようとする子どもを 高め合う子どもの育成 目指して	研究の方向性	研究主任		4月	
	研究主題・副主題・研究仮説	研究主任		4月	
	研究の内容	研究主任		4月	
	全体研究の確認	研究主任		5月	
	理論研究	研究主任		5月	
	理論研究	研究主任		6月	
	授業実践	研究主任		6月	
	学習会	研究主任		7月	
	授業実践	研究主任		7月	
	教育課程学習会環流報告	研究主任		8月	
	理論研究	研究主任		9月	
	授業案検討	研究主任		9月	
	授業案検討	研究主任		10月	
	授業実践	研究主任		10月	
	授業研究	研究主任		11月	○
	授業実践	研究主任		12月	
	執筆内容確認	研究主任		1月	
	研究のまとめと来年度の方向性	研究主任		2月	
研究紀要資料作成	各担当				
研究紀要作成	研究主任		3月		